大分大学教育学部附属中学校　学校通信　No.6

大鴻（おおとり）

令和７年　１２月１９日
文責：校長　村上　重行

スローガン「一致団結～時間厳守・規範意識・思いやり」 2年生修学旅行

１２月２日（火）～５日（金）の３泊４日で２年生が東京への修学旅行を行いました。

１日目は大分空港から羽田空港へ向かい、日本の政治の中心地である国会議事堂にある衆議院本会議場などを見学しました。その後、上野公園では国立科学博物館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京都美術館を学級ごとに見学をしました。たまたま通りがかった東京藝術大学に通う本校卒業生と出会い、「制服が懐かしい」などの昔話を聞くこともできました。夕食は東京の郷土料理である深川めしをいただきました。

２日目は、班ごとに都内で自主研修を行いました。経験したことのない満員電車にも動じることなく、東京スカイツリーや浅草など、各班４～５か所ほどの目的地を巡りました。映像の中でしか見たことがない名所を実際に訪れ、班員とともに有意義な時間を過ごしました。

３日目は、東京ディズニシーを訪れました。早朝にもかかわらず、入場ゲートにはすでに長蛇の列ができており、平日とはいえ人気の高さを感じました。生徒たちは思い思いに被り物やサングラスなどを身に着け、雰囲気を満喫している様子でした。

最終日の４日目は、本校を卒業し、現在大学生活を送っている先輩方が在籍する東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学、上智大学を訪問しました。学校の特色や学生生活について紹介していただき、これからの進路決定に向けたアドバイスや、成績を上げるためのポイントなどについて多くの質問をしました。自分の進路について向き合う貴重な時間となりました。

今回の修学旅行での成長がこれからの学校生活や来年度最上級生となる生徒たちの団結力につながることを期待しています。

キャリア教育の一環として1年生が職場体験学習を行いました。

１２月２日（火）から４日（木）までの３日間、「人は、なぜ働くのか～働くことの意義や求められる資質・能力～」を学年テーマに、職場体験学習を実施しました。公立中では２年生での実施が一般的ですが、本校では１年生でこの学習を行っています。

当日は公共施設や保育園、デイサービスなど 37 の事業所にご協力いただきました。生徒たちは、時間を守ることの大切さや、相手の立場に立った思いやりのある言動、自分の仕事に対する責任感など、学校生活での学びが社会でも役立っていることを実感したようです。働く現場での実践を通じて、多くの気づきを得た貴重な３日間となりました。

今年も多くのゲストティーチャーにお世話になりました。

１１月２７日（木）は全校生徒を対象に府内耳鼻科副院長の植山先生による、がん教育を含めた「命の授業」が行われました。

また、１２月１５日（月）は３年生を対象に国立天文台月惑星プロジェクト、プロジェクト長の並木（なみき）先生をお招きし、太陽系内での生命の存在に関する研究について講演していただきました。

このほかにも、交通安全教室、薬物乱用防止教室、ICT マナーアップ講座、メランデ・ピアノ三重奏団による演奏など多くのゲストティーチャーから幅広く学ぶ機会をいただきました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。